

## 平成 28 年度「第 3 回ケアラーサポーター育成研修」開催報告 地域に学び、地域で支える

～ケアラー（家族を介護する人）を孤立させないために～

【日時】平成 28 年 11 月 2 日（水）16：20～17：40

【場所】長崎大学文教キャンパス 環境科学部 A13 教室

【講師】塩塚 博史 氏

（長崎市西浦上・三川地域包括支援センター）

【内容】認知症サポーター養成講座

平成 28 年 11 月 2 日（水）、長崎大学文教キャンパス環境科学部 A13 教室にて、「第 3 回ケアラーサポーター育成研修」を開催いたしました。当日は学内外から 50 名の参加がありました。

平成28年度 第3回ケアラーサポーター育成研修

平成28年  
11月2日(水)  
16:20~17:40  
(開場/16:00)

参加費無料  
※車庫に利用は  
ありません  
託児あり

会場  
長崎大学文教キャンパス  
環境科学部1階A13教室

認知症サポーター養成講座

認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を  
適切にケアする必要がある。認知症サポーター  
は一人でも多く増やそう。認知症になっても役割が  
ある人になりたがる人を増やそう。認知症サポーター  
養成講座を実施しています。受講時にはオレンジリ  
ングを配布します。

講師  
長崎市西浦上・三川地域包括支援センター

対象  
一般（地域）の方、長崎大学学生・教職員

申し込み  
お申込みは要綱をご覧ください

お問い合わせ  
長崎大学 生涯学習センター  
TEL 095-819-2179 (内線：2179) FAX 095-819-2159  
MAIL cslc@post.nagasaki-u.ac.jp http://www.cslc.nagasaki-u.ac.jp

長崎大学  
地域に学び、地域で支える  
ケアラーを孤立させないために

### 講演「認知症サポーター養成講座」

（長崎市西浦上・三川地域包括支援センター 塩塚 博史 氏）

塩塚氏より、「認知症サポーター養成講座」を実施していただきました。認知症サポーターとは、認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族に対して温かい目で見守ることがスタートであり、特別なことをするのではなく、認知症の人やその家族の「応援者」であることの説明がありました。認知症高齢者数の推移、認知症の種類と症状、対応、認知症の予防や家族の気持ち、認知症の人とその家族を支えるネットワークについて、ワークを交えながらお話いただきました。認知症サポーターは当初の予想以上に増えているが、認知症高齢者の数はますます増加している現状にあり、その予備軍を入れると、認知症サポーターの数を超えてしまうことの説明がありました。認知症も含めて病気は、早期発見・早期治療が大事であり、それが予後につながることを詳しく話されました。また、生活習慣病の予防や脳の活性化を図り早い段階で予防することが重要であることを詳しく話されました。また、地域包括支援センターは長崎市内に20箇所あり、高齢者の総合相談窓口として活動していること、権利擁護事業や地域のネットワークづくり、認知症地域支援推進員についても説明されました。最後に、受講者全員にオレンジリングを配布し、「今日からみなさんも認知症サポーターです」と締めくくられました。



写真1. 塩塚 氏



写真2. ワーク風景



写真3. ケアラーサポーター育成研修風景

第3回ケアラーサポーター育成研修には、多くのみなさまにご参加いただきました。センタースタッフ一同、心よりお礼申し上げます。アンケートでは「認知症についてより深く理解することができました」「すごく分かりやすく興味深かったです」「地域や知人に認知症の症状が進んできている人がいます。目が届く範囲でのお手伝いできればと思います」「地域包括支援センターの役割がとても重要になってきているので、益々のご活躍をよろしく願います」「認知症の人の立場にたって対応を考えたりしたことは今までなかったので、すごく興味を持ったし考えていきたいと思った」など、気づきや学びについてのコメントが多くありました。アンケートへご協力いただきましたみなさま、ありがとうございました。

長崎大学ダイバーシティ推進センターは、今後も引続きケアラーサポーター育成研修を開催します。次回のケアラーサポーター育成研修は、平成29年1月7日に傾聴講座を予定しています。今後ますます介護の課題を抱える人が増加することが確実視されているなか、介護者が孤立することなく介護者も要介護者も共に社会参加ができる環境作りができるよう、地域に学び地域で支える支援へ取り組んでまいります。